

ななしぎ
③⑧ 名無木 岐阜県天然記念物（関市東本郷）



名無木は、関市役所東側の東本郷にあります。木犀科のトリネコで、別名タゴノキという落葉樹です。

名無木の由来にまつわる次のような伝承が残っています。江戸時代中頃、干ばつによる不作で農民たちは苦しんでいました。この窮地を救うために、庄屋であった大滝金右衛門は代官に年貢減免を再三お願いしましたが、聞き入れられませんでした。思いあまった金右衛門は代官を殺害してしまい、その罪を問われ張りつけの刑に処せられてしまったのです。農民たちは嘆き悲しみ、その遺体を埋葬しました。やがてその場所に、一本の名前のわからない木が生えてきました。農民たちは金右衛門の遺徳を偲び、これを「名無木」と呼んで大切にしてきました。

【アクセス】 関市役所より東へ、徒歩約 15 分

関の文化財探訪

その 21

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

③⑨ 八幡神社のカゴの木 関市天然記念物（関市側島）

八幡神社は長良川とその支流である今川に囲まれた保戸島の南部にあります。カゴの木は本殿脇にあり、幹回りが約 300 cm、推定樹齢は約 350 年といわれている大木です。

淡灰黒色の樹皮が、点々と円い薄片となって落ち、その跡が白くて鹿の子模様となることから「鹿子の木」といわれています。カゴの木は温暖な地域に生える常緑樹で、本州では千葉県以西と、四国・九州・沖縄で見ることができますが、希少な樹木です。

【アクセス】 関市自主運行バス わかくさ・小金田線「側島南」下車、南へ徒歩約 15 分
東海北陸自動車道・関 IC から西へ車で約 15 分

